

平成23年度 自己評価結果公表シート

学校法人清明学園 札幌幼稚園

1. 本園の教育目標

「豊かな保育を通して、生きる力を育てる」(やさしい子、かしこい子、つよい子)

- ・豊かな人間関係がくれ、思いやりのある子
- ・何事にも関心を示し、意欲的で想像力と創造性の豊かな子
- ・健康な心身を持ち強い意志と自立心と自律性のある子

2. 今年度の重点目標

「一人一人が集団の中で育ち合う、豊かな教育環境作りを目指す」

子ども一人一人の個性を尊重し、子どもが自分で考え、判断し、行動するという自発的で主体的な活動を納得いくまで取り組めるようにすると共に、幼児期にこそ育つ豊かな感性を最大限に伸ばしていけるような教育環境作りを目指していく。

3. 評価項目及び取り組み状況

(1) 保育の計画性

教職員間での幼稚園教育要領の理解をしたうえで、園の教育理念や教育目標についても共通理解し、教育課程と指導計画の改善を図った。また、要特別支援児の支援計画についても実践事例をもとに改善していった。

(2) 保育のあり方、幼児への対応

幼児に対しての、健康と安全への配慮を見直し、「危機管理マニュアル」や「環境を通して行う教育」の内容を教職員が共通理解し、園内環境や安全管理の改善に努めた。また、要特別支援幼児を含め幼児の発達課題や幼児同士のかかわりの姿を捉え幼児の育ちを理解した。

(3) 幼稚園教員としての資質と能力

組織の一員としてのあり方を理解し、教職員同士の協力・連携を十分に図るようにし「報告・連絡・相談」を密に行うように努めた。また、幼稚園教員として特別支援教育を含めた専門知識や技能のスキルアップの機会を積極的にもつことができた。

(4) 保護者への対応

教師と保護者が共に、学び、成長し合える環境作りや子育て講演会などの機会を設けた。また、家庭との信頼関係を築くことができるコミュニケーションの仕方について、ホームページを中心に様々な情報発信の工夫を行った。また、保護者からの相談、要望には心よく応じ話を聴くようにした。

(5) 地域の自然や社会とのかかわり

小学校との連携を図り、小学校の教育内容について理解を努める。子育て支援や地域開放について教職員全体で話し合い、具体的な形や内容の理解を図る。園の近郊の自然環境や施設設備を利用した園外教育を積極的に行った。

(6) 研修と研究

子どもを取巻く様々な環境の変化と影響について、その背景や原因や実態から考え、今日的課題に関する研修・研究の取り組みを進めてきた。また、日常保育実践に生かせる保育技術の習得に努めると共に、実践と理論が関連していく内容や方法を考慮した園内研究に努めた。

4. 総合的な評価結果

昨年度の自己評価を参考にし、23年度はさらに前年度の成果が生きていくよう、内容や方法の充実に努めた。園運営や教育理念を教職員で確認し合い共通理解することで、様々な視点で日常の保育や行事等の見直しをする機会になり、教職員全体の意識がさらに向上した。また、自己評価を通して園や個々の教職員の具体的な取り組むべき次の課題が明らかになった。

5. 今後取り組むべき課題

自己評価表を基に、個々の教職員の課題が全体の課題へと意識が繋がっていくことで教職員間の連携と協力に結びついていくと良いと考えられる。今後、意識変革の上に様々な教育実践の成果と研鑽の積み重ねを通して、園の教育の質を向上させる原動力になるよう方向づけをしていくことが大きな課題となる。

また、そのためにも次年度は園内組織の中に「学校(幼稚園)評価委員会」を設置し、評価の質の向上につながるような取り組みを進めていきたい。